

## 地域協議会活動状況等調査票

		①陶小学校区地域協議会	②篠岡小学校区地域協議会	③小牧原小学校区地域協議会
設立年月日		平成26年3月2日	平成27年4月5日	平成28年4月24日
関係区数		3区 (上末、下末、高根)	5区 (池之内、林、篠岡1～3)	12区 (小牧原中・西・北・源川・南、懐、安田、街道、大新田、大井、山北、間々原)
1	<p>設立するまでに苦労したこと、大変だったこと</p> <p>回答例) 関係区の了解を得るのが大変だった、役員のなり手がいなかった、など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設立前から「夏祭り」「防災訓練」など3区合同でイベントを開催するなど、学区のつながりを重視していた為、特段の苦労はなかった</li> <li>・役員についても、上記にある3区合同イベントのつながりから問題なく決まった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の小学校区の事例が（ほとんど）ない中で、地域協議会の役割と自治会との違い及びどのようなことをしていくのか、委員や住民に理解してもらうことが難しかった</li> <li>・準備期間に2年をかけて、住民に理解してもらうために説明会を開催するとともに、全高齢者を対象にアンケートを実施してニーズを探ったりと、多大な労力と時間がかかった</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会の必要性についての説明を行う際に、具体的なメリットの説明を求められ、苦慮することがあった</li> </ul>
2	<p>設立してよかったこと</p> <p>回答例) 地区のイベントを学区に集約できた、会計事務が楽になった、など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3区は連携することへの意識が非常に高く、成るべくしてなったと言える</li> <li>・地域協議会が「子ども会」に代わって行う、「ドッチビー大会」「もちつき大会」「夏まつりで披露する和太鼓や合唱」は地域の子供達、その親と地域とのつながりを一層深めている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化が加速していく桃花台地区の環境で、地域の交流や防災意識、地域福祉などの課題については、小学校区という単位で取り組むことで効率的に推進できている</li> <li>・旧来の地区との交流が深まることで、壮年層の方に大きく関わってもらえ、力強い活動が展開できている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校区において問題意識を共有し、何かを始めていこうという仲間が集まることで本音で会話ができるようになった</li> <li>・自分の自治会以外との折衝をすることで、小学校区の状況について知ることや、今までになかった交流が増えた</li> </ul>
3	<p>設立してから苦労したこと、大変だったこと</p> <p>回答例) 認知度が低く人が集まらない、活動する拠点が無い、など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の実施にあたっては、事務局長や役員のおかげで円滑に進行している半面、苦労をかけていると思う</li> <li>・近くにある小牧勤労センターを会場にできる点や、地域の公民館に資材を置ける点はあるがありがたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の認知度が低い</li> <li>・事業で使う備品などを置いておく場所が少ない（倉庫の設置により改善）</li> <li>・実施事業の検討（特に福祉分野）</li> <li>・委員選定、後継者の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設立から2年程度であり、認知度が低く活動が地域に浸透しない。このため、持続的な活動を実施していくことが求められる</li> <li>・12区全てが活動を理解し、参加・協力してもらう調整が難しいので、どうしても活動の開始時は少人数となってしまふ</li> </ul>
4	<p>今後活動として取り組みたいこと</p> <p>回答例) 要配慮者の安否確認訓練、地域ポイントを活用した活動、など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ポイントを活用した、高齢者等の生活サポートを実施する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会PR用ホームページの作成と運用</li> <li>・地域向け広域防災行動マニュアルの拡充と、各区対応自主防災マニュアルの整備</li> <li>・その他、協議会PRに資する活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多数の区に共通する課題に対して、小学校区全体での解決方法を探ることで、個々の地区の負担を減らしていけるような活動を目指したい</li> </ul>
5	<p>地域協議会の制度や交付金の仕組みについての意見・提案など</p> <p>回答例) 協議会設立前に準備のために資金がもらえるようにしてほしい、など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各協議会固有の活動は重視する必要があるが、共通するベースラインを策定し活動内容に齟齬が出ないような配慮が欲しい</li> <li>・各年度当初で補助金を予算化することは必要ではあるが、年度途中でも追加予算化できるように配慮してほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織が継続していけるような役員制度について提案してほしい</li> <li>・日常の細かい活動資金について柔軟に対応できるような方法を提案してほしい</li> </ul>

## 地域協議会活動状況等調査票

	④大城小学校区地域協議会	⑤本庄小学校区地域協議会	⑥味岡小学校区地域協議会
設立年月日	平成29年6月25日	平成30年2月25日	平成30年3月24日
関係区数	8区 (大草東、大草西、城山第2～5、桃花台パルク、城山5丁目県住)	9区 (小松寺団地、本庄、タノ本庄、本庄台、ガーデンパルク本庄、田県東、田県西、久保山団地、(小松寺))	10区 (東田中、東田中県住、文津、岩崎東、岩崎中、岩崎西、南岩崎台、久保、小松寺、小牧原駅東)
1 設立するまでに苦労したこと、大変だったこと 回答例) 関係区の了解を得るのが大変だった、役員のなり手がいなかった、など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・城山は集合住宅の集まりで、大草は昔からの集落であることから地域性の違いが少なからずあるため、一つの小学校区でまとまることに対して理解を得るのに苦労した</li> <li>・役員のなり手が少なく、役員の選出に苦労した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区の枠を超えて実施している懇親会や、学区防災訓練などを通じて、発起人同士(後の役員)の連携がとれていた</li> <li>・各種団体からの様々な意見を、事業計画や規約に反映するのに苦労した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係区長の了解を得るのが大変で、年度を跨いで約2年間かかった</li> <li>・協議会の組織体制イメージや地域づくりミーティングの定義を各委員に理解してもらうのが大変であり時間を要した</li> <li>・誰が発起人になって、協議会設立の準備の音頭をとるのが分かりにくかった(現役の区長、区長OBなど)</li> </ul>
2 設立してよかったこと 回答例) 地区のイベントを学区に集約できた、会計事務が楽になった、など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの消防総務課の補助金では関係する各区で申請するなど事務が煩雑であったが、学区防災訓練の会計事務が協議会の交付金からの支出となり、会計事務が楽になった</li> <li>・城山と大草の地域の方々が、交流する場ができた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学区防災訓練の会計を円滑に行えるようになった</li> <li>・防災分野以外にも様々な地域の課題解決に取り組めるきっかけになった</li> <li>・地域の様々な団体が繋がる場ができた</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災以外にも様々な地域の課題解決について考え、取り組む仕組みができた</li> <li>・これまで他区との交流が無かったが、区を超えて色々な人が集まり、身近な問題を自由に意見交換できる公式な場ができた</li> </ul>
3 設立してから苦労したこと、大変だったこと 回答例) 認知度が低く人が集まらない、活動する拠点が無い、など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会の認知度が低く、事業を実施する際の人集めに苦労する場面がある</li> <li>・地域にとって協議会の重要度が低い。担い手もない</li> <li>・協議会としてどのような事業を実施するべきかがわからなかった</li> <li>・市や各地域で行っている行事が多く、新しく予定を組み入れるのが難しい</li> <li>・大城小の学区は、桃陵中・光ヶ丘中に分断されるので、まとめにくさがある</li> <li>・活動拠点、自主財源がないのは不安</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設立初年度ということもあり、認知度が低い</li> <li>・専用の事務所が無いため、資料作成や作業に必要な機器を揃えることができない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設立初年度ということもあり、認知度が低く、公募委員がなかなか集まらない</li> <li>・専用の事務所が無いため、資料作成や作業に必要な機器を揃えることができない</li> <li>・様々な分野(交通、環境、防犯、子どもなど)の地域課題があり、最初の取り組みが絞れない</li> <li>・役員の中でも協議会やその活動に対する認識に違いがあり、統一するには時間を要すると思われる</li> </ul>
4 今後活動として取り組みたいこと 回答例) 要配慮者の安否確認訓練、地域ポイントを活用した活動、など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難行動要支援者の安否確認訓練や、外国人を対象とした防災訓練などの取り組み</li> <li>・協議会のPR活動を継続して実施したい</li> <li>・中、高、大学生のボランティアを募集したい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種団体が行なう交流事業の効率化、広域化</li> <li>・課題解決の取組みについて検討していく</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当面、交流促進と福祉の分科会に分けて意見交換をする</li> <li>・将来的には篠岡小学校区地域協議会の「おたすけ隊」のような活動を目指している</li> </ul>
5 地域協議会の制度や交付金の仕組みについての意見・提案など 回答例) 協議会設立前に準備のために資金がもらえるようにしてほしい、など	<ul style="list-style-type: none"> <li>・準備委員会の段階で、交付金がいただけるような仕組みがあるとよい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会設立前に準備のための資金がもらえるようにしてほしい(準備委員会の会場代やお茶代、設立総会時の催しにかかる費用など)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会設立前に準備のために資金がもらえるようにしてほしい(準備委員会の会場代やお茶代、設立総会時の催しにかかる費用など)</li> <li>・今後の協議会予算を決めるにあたって、助成金以外の自主財源(企業からの寄付金や、バザー等を開設した際の売上金)を含めた経理方法を具体的に説明してほしい</li> </ul>